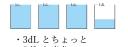
主な学習内容と予想される児童の反応

前時学習を想起し、本時のめあてをつかむ。



・3dL と半分 · 3dL40mL

水とうにはいる水のかさを1 ますで調べたら、3dLとあま りがありました。 この水とうには、何 dL の水が はいりますか。

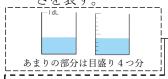
あまりの部分をどのようにあらわせばよいか考えよう。

- 端数部分の表し方を調べる。
 - 既習内容の振り返りをし、見通しを立てる。

見 方:目盛りを見る

考え方:10等分にして考える

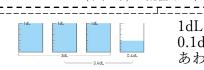
端数部分の大きさを液量図に表し、水筒に入るか さを表す。



1 dL を 10 等分した 1 つ分のかさ

0.1dL (れい点一デシリットル)

〈ポイント〉 0.1dL のいくつ分で考える。



1dL が 3 つ分で 3dL 0.1dL が 4 つ分で 0.4dL あわせて 3.4dL

| 0.4 や 3.4 などの数を小数といい、「.」を小数点といいます。また、0,1,2 などの数を、整数といいます。小数で、小数点のすぐ右の位を小数第一位といいま

問題1のポイントをもとに、練習問題を解く。 ○ 0.1dLのいくつ分かを考えながら練習問題を解決 する。

〈練習1〉 下の図の水のかさは何 dL ですか。

〈練習2〉 次のかさだけ色をぬ りましょう。 ①1.5dL

②0.9dL

〈練習3〉 ①0.1dL を 10 こ集めた かさは□dL です。 ②0.8dL は 0.1dL を口 こ集めたかさです。

水のかさを図に表し、小数でどのように表せるか 問題を出し合い、説明し合う



【説明】 0.1dLが つ分で dLです。

本時学習のまとめをし、「今日の学習で」を書く

あまりの部分は小数で表すと1つの単位でかんたんに表す ことができる。

- ・あまりの部分を表すには、長さやかさのように1を 10 等分にして 0.1 を作ると表すことがわかった。
- ・小数を使うと単位が1つでいいので簡単になった。
- ・小数もたし算やひき算ができるのか学びたい。

本時で見られた深く学び続ける子どもの姿

- 前時に実際に水の量を調べて、あまり の部分を表せなかったことを想起したこ とで、本時のめあてを自分で立てる姿が 見られた。
- これまでに学習した、長さやかさの学 習を想起したことで、10等分の目盛り をつけたり、そのいくつ分で考えたりし たらいいという見通しを持つ姿が見られ た。
- カウンターを用いたことで、一の位と 小数第一位や小数点の意味、小数の仕組 みを捉えることができた。

T:水筒に入っていた水の量を表して みましょう。

C1: ぴったり入っている方は1dLの 3つ分だから3dL。

C2: あまりの部分は 10 等分した目盛 り、0.1dLの3つ分だから0.4dLにな る。

C3: 3 dL と 0.4dL を合わせた数だから 3.4dL になる。

自分で問題を作って説明を書く場面を 設定したことで、0.1dL のいくつ分で考え ることを捉え、実際に使う姿が見られた。



○ 学習の振り返りでは、0.1のいくつ分 を使ってこれからも学びたいという記述 が見られた。

- 水筒に入っている水を量る活動を行ったことで、表すことができなかったあまりの部分の表し方を 考えたいという子どもの姿が見られた。
- 0.1dLのいくつ分と0.1のいくつ分という言葉を使ってしまい、子どもの中で混乱してしまった。
- 小数の概念形成の部分であったため、一斉に意味を捉える場面が多くなってしまった。